

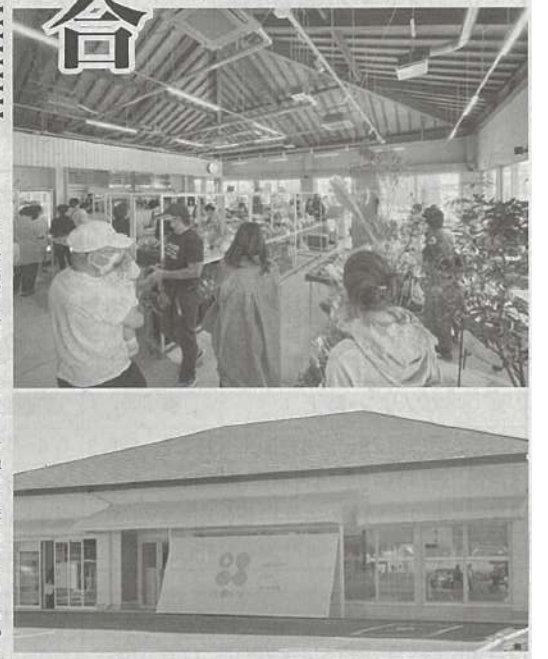
最新設備機器を設置した「eco
ランドリープラス西貝塚店」



ランドリー+カフェ+マルシェ融合

新業態「KOEEN」オープン

開放感たっぷりの店内マルシェで地元のとれたて野菜販売(上)、快適性、デザイン性重視の内外装リノベーション



【磐田市＝静岡】ENEOS系販売業者・第一商事(本社静岡県磐田市・清水聖也代表取締役社長)がSSを併設しないコインランドリーとして、新業態のランドリー+カフェ+マルシェを融合した「KOEEN(コエン)」をこのほど磐田市内に地元異業種企業とコラボレーション(協働)する格好で新規オープンした。県内大手H.C.(ホームセンター)であるジャンボエンチョー磐田店の駐車場の一角で閉鎖中だった空店舗で快適性、デザイン性を重視した内外装のリノベーションを実施。地域のコミュニティスペースとしても活用していく。同社は「地域のハブの役目を果たし新しいコミュニティ創出を目指す」としている。

第一商事

第一商事では新規事業として約16年前からSSを併設しない単独店のコインランドリー事業を積極展開しており、さらに同社独自ブランドとして「ecoランドリー」を立ち上げ、今回オープンしたコインランドリーは7店舗目となる。また「ecoランドリー」のなかでもカフェなどの異業種関連施設を併設した店舗については「ecoランドリープラス」と上位ブランドと位置付けており「KOEEN」に組み込まれているランドリー部分は2カ所目の「ecoランドリープラス」と

なる「ecoランドリープラス西貝塚店」として営業していく。

新業態のランドリー+カフェ+マルシェを融合した「KOEEN」の名前の由来について清水社長は「人が集い、人の暮らしが『弧(コ)』を描き、『緑(エン)』でつながっていく場所であり、また、公園(コエン)のような地域のコミュニティを生む場所という意味」と説明。同社ではすでに昨年末にオープンした6号店目の「ecoランドリープラス富士見町店」において

地元の人気カフェ「おやつカフェGUGU」とコラボレーションして姉妹店「トーストカフェGUGU」を出店。ランドリーとカフェを組み合わせ

地元異業種企業とコラボで街を元気に経済活性化

た業態店舗として人気を集めている。「KOEEN」のランドリー部分については第一商事が直接運営し、TOS EI製の最新型洗濯乾燥機5台、乾燥機10口、敷布団専用乾燥機1台に加えてペット専用の洗濯乾燥機1台を設置。集中精算機は専用プリペイドカードだけでなく大手流通系などの電子マネーにも対応。ランドリー部分の専有面積は施設全体の約3分の1前後。その一方でカフェ部分は地元でカフェを展開する「CAFÉ yamatō(カフェやまと)」を誘致。さらにマルシェ部分は地元農家が栽培した、とれたての新鮮な野菜や地元の飲食店が真心込めてつくった弁当・惣菜、スイーツなどを展示販売。「コロナ禍で困窮している農家や飲食店の販路を創出すると同時に地元のグルメがワンストップで楽しめる場所を目指す。定期的に店舗前の駐車場をオープンスペースとしてキッチンカーや屋外マルシェを設けたイベントを開催したり、店内もコミュニティスペースとして音楽ライブやワークショップなどの開催のために開放し、人と人がつながる場所にしていきたい」(清水社長)と地元企業、地域社会とのコラボレーションを重視している。